

だんだん日が長くなってきて、気温が低いにもかかわらず、なんとなく春が近づいてきたように感じられます。先月にひきつづき、生きものたちが春に向けてどんな準備をしているのか、見てみましょう。今回は、植物のロゼット葉を観察します。

## ◆春への周到的な準備～ロゼット葉

ロゼット葉とは、冬の間も枯れずに残っている葉で、地面にぺたりとくっついて放射状に広がるものを言います。真上から見ると、葉が重なっているようすがバラの花を思わせるため、Rose（バラ）を語源としてロゼット葉と呼ばれています。ロゼット葉を持つのはナズナのなかま、マツヨイグサのなかま、オオバコのなかま、キク科の一部などです。また、ロゼット葉と呼べないまでも、同じように冬にぺたりと地表に葉をひろげている植物は、ほかにも数多くあります。落ち葉をかき分けてみると、たくさんのロゼット葉を見ることができます。花の茎が成長した姿とはまた違った雰囲気のを、じっくりと観察してみましよう。写真は上がロゼット葉（現在）で、下が花が咲いたようすです。



カントウタンポポ



メマツヨイグサ



カキネガラシ

次回のお知らせ

ミニ観察会：3月24日（土）11時から  
新聞 No. 11 も観察会にあわせて発行します。